

事業番号	02 05 01	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州まつもと空港活性化事業費				担当課	部局	企画振興部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト			課・室	交通政策課		
	施策の総合的展開	5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実			E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp		
		3 信州まつもと空港の活性化			実施期間	H6 ~		

1 事業の概要

目指す姿	信州まつもと空港にかかる広報宣伝と利用者・旅行会社等への支援を関係機関と連携して取り組み、信州まつもと空港発着の国内定期便の安定的な運航の確保及び増便を目指す。 成果目標: 信州まつもと空港利用者数 76千人(H23)→120千人(H29)
現状 (予算編成時)	○信州まつもと空港発着の札幌線と福岡線を合わせた平成25年度の定期便の利用率は、ジェット化開港以来最高の75.4%を記録。 ○一方で、夏季の利用率は高いものの(H26.7月～9月の利用率84.0%)、冬期の利用率は落ち込む傾向(H25.11月～H26.1月の利用率66.9%)にある。

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 県民との協働による実施: 実施は困難	【左記の説明、根拠法令等】 市町村・経済団体とともに、県営空港の活性化に向けて県が主体的に取り組む必要がある。 信州まつもと空港利用促進協議会規約
----------	---------------------------------------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)						
	○定期便等の利用者数: 120千人 (設定理由: 空港の利用状況を表す定期便とチャーター便の利用者数について、路線の拡充による利用者の増加を目指し120千人と設定) ○定期便の利用率: 70% (設定理由: 成果目標の達成に向け70%と設定) ○信州まつもと空港を発着する定期便等の就航便数: 2,250便 (設定理由: 空港の利用状況を表す航空機の就航便数について、2,250便と設定)						
	② 事業内容 (単位: 千円)						
	項目	実施方法	H27事業実績		H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	1. 信州まつもと空港利用促進協議会負担金	負担金	負担先(信州まつもと空港利用促進協議会) ①定期便の利用拡大 ・マスメディア等を活用した県内、就航先等でのPR ・旅行商品の造成支援 等 ②季節運航便(大阪線)の利用者確保 ・誘客イベントでのPR、運航情報の周知 ③チャーター便の運航支援 ④空港アクセスの確保 ・直行バス(空港～松本BT)の運行支援	20,100	20,100	20,100	
	2. 空の日事業負担金	負担金	負担先(スカイフェスティバルin松本実行委員会) 「スカイフェスティバルin 松本」の開催 (県民の方が空港に親しんでもらうためのイベント)	300	300	300	
	合計			20,400	20,400	20,400	

事業コスト	区分(単位: 千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末 (実績)	H27			H28 目標
		当初予算	19,200	22,600	20,400	20,400			目標	成果	達成状況	
		補正予算		3,675								
		合計(A)	19,200	26,275	20,400	20,400						
	Aの財源	一般財源	19,200	26,275	20,400	20,400	信州まつもと空港利用者数	96.8千人	120千人	116.5千人	未達成	120千人
		県債					国内定期便利用率	73.2%	70%	61.8%	未達成	70%
		国庫支出金					就航便数	1,572便	2,250便	2,296便	達成	2,250便
		その他	0	0	0	0						
	決算額(B)	19,200	26,038	20,400								
概算人件費	職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00							
	概算人件費(C)	24,774	24,774	24,828	24,828							
概算事業費(B(A)+C)		43,974	50,812	45,228	45,228							

目標に対する成果の状況	福岡線の複便化(1日2往復)や国内チャーター便の運航増加により、就航便数は目標を達成することができた一方、利用者数は前年度より増加(19千人(20%)の増)したものの、目標にわずかに届かなかった。 定期便利用率は、福岡線複便化に伴う提供座席数の増加により、利用率は増加したが目標を下回った。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	平成28年6月に策定した「信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針」に基づき、福岡線複便化の定着・拡大、大阪線の運航期間の拡大など国内路線の拡充、国際チャーター便の就航など空港の国際化に取り組んでいく。